



# 名瀬小だより

## 5月号

学校教育目標

自分・友だち・まちがすき

自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和3年4月30日

横浜市立名瀬小学校

校長 中嶋 孝宏



## 興味があることをやってみる

校長 中嶋 孝宏

桜の花が散ると、緑の葉が色濃く新緑の季節となります。様々な草木が芽吹き、緑深く5月を彩ります。空気もおいしく、さわやかな風が流れ、日本の四季の豊かさを感じ、自然からの力をいただくことができ「またこの季節がきたな。」と嬉しく思います。今年は暖かい日が続き、つつじの開花も早く、時間を先取りしている感じを受けます。冬の毒素をとるといわれ、この時期無性に食べたくなる「たけのこ」も例年より早く収穫されています。初物を食べると75日長生きするといわれ、関東ではこぞって食べられてきました。私も先日、初物をいただきました。ぬかで湯がき、刺身にして食べるのがやはり一番おいしく、たけのこからも新たな力をもらいました。4月は天気が変わりやすい月ですが、先日6日連続で晴れ、観測史上初めての4月の長い日照時間となりました。今年はより自然界からパワーがもらえ、わくわくした気持ちにさせてくれます。

先日、東京で小学校4年生の男の子が、迷子になった4歳の子に声をかけ、交番に連れて行き、無事母親と会えたという出来事がありました。警察も4歳の子を捜索中でしたが、男の子は「怪しいものではありません。」と言い、4歳の子の「服の裾をもつ」という感染対策も取りながら、交番へ連れて行きました。「自分が助けないと大事になってしまうと思った。」と笑顔で話していました。その男の子の勇気ある行動に温かい気持ちになりました。朝会で「自分だったらどうしましたか。」と話す「助ける。」「大人に言う。」「声をかける。」といろいろな気持ちがでました。

先日地域の方から「水のペットボトルを運んでいる老人に声をかけ、一緒に運んだ子どもがいました。優しい気持ちに感動して連絡しました。」と連絡をいただきました。その子どもというのは本校の子どもでした。また、学校では両手に物を持ち、運ぶ先生が教室から出ようとする「さっとドアを開けてくれる」児童を見かけました。「子どもたちは成長しているな。」と嬉しく思いました。

子どもたちは、授業などで習ったことを本で調べたり、家で実践してみたり、休み時間に試してみたりと、自分なりに取り組んでいます。その時に、興味をもったことを支援していくことは子どもを伸ばす上で大切です。学校でも支援してまいりますので、ご家庭でも話を聞いていただいたり、チャレンジさせたりとご支援をよろしくお願いいたします。

まん延防止等重点措置となり、5・6月に予定していた宿泊行事等も延期し、併せて他の行事も見直しを余儀なくすることとなりましたが、日々の学校での生活を大事にして子どもたちと歩んでまいります。昨年に続きご心配等おかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いします。

